

保育計画成果報告書

法人名等	株式会社 テノ. コーポレーション
施設名	ほっぺるランド東品川
報告者（役職）	藤村 弘美（園長）
住所・連絡先	東京都品川区東品川 3-25-9
	☎ 03-6810-3670
	E-mail higashishinagawa-hoppel@teno-corporation.co.jp

○タイトル（保育計画）

絵本が心に響く場所。

○主な助成備品

絵本、ソファ、本棚、等

1. 保育計画策定の目的

☆保育の中の絵本ではなく、絵本を味わうための空間を作る。

☆保護者に絵本を身近に感じてもらう空間にする。

2. 具体的な実施内容

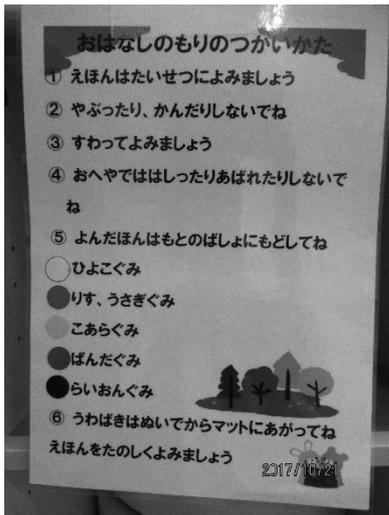
- ・自園 4 階ホールに絵本を読む空間「おはなしの森」を設置しました。保育時間の中で、保育室でなく「おはなしの森」で保育者が絵本の読み聞かせをします。また、子ども達も自分の好きな絵本を手に取り、自由に読めるようにもしています。
- ・保護者お迎えの時に 4 階「おはなしの森」でお子さんに絵本を読んであげる場所として使っています。
- ・2 か月に 1 回絵本専門士・読書アドバイザーによる「お話し会」を行います。土曜日なので保護者と共に参加して頂いています。感染対策のため少人数で 1 部 2 部の 2 回に分けて行っています。

*対象年齢別にシールで色分け

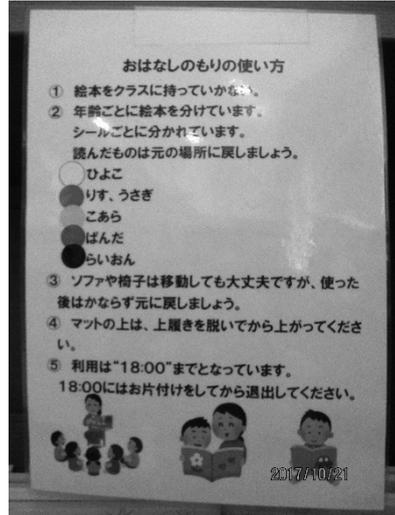




絵本に同じ色のシールを年齢別に貼り
わかりやすくした



<子ども達用>



<保護者用>

「おはなしのまじり」の
使い方の
お約束

*保育室とは違う空間



3. その成果と評価

保育中に「おはなしの森」で絵本を読むことは特別感があるようで、子ども達からも「4階に行きたい」との声が多く聞かれます。絵本の味わいもより深いものとなるようで、絵本のためだけの部屋ということが、より特別感があるようです。

読み手の保育者も真摯に絵本と向き合う姿勢を無意識にもたらしていて、今までとはひと味違う読み方の工夫が見られます。

年に数回行った「お話し会」では、ただ単に絵本の読み聞かせではなく、保護者・子どもも参加型のお話し会のため、保護者から大好評で「楽しかった」「次はいつですか」等の要望も沢山いただいております。



4. 今後の課題と展望

今後、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら、地域の子育て世代の方も「お話し会」にお呼びし参加して頂きたいと思っています。この空間には保育5領域の「表現」「言語」「養護・教育」の「情緒」を豊かにする力があります。

子育てをする家庭の憩いの場であり、園の目標である子どもの主体性と非認知能力を培う場所にしていきたいです。

以上